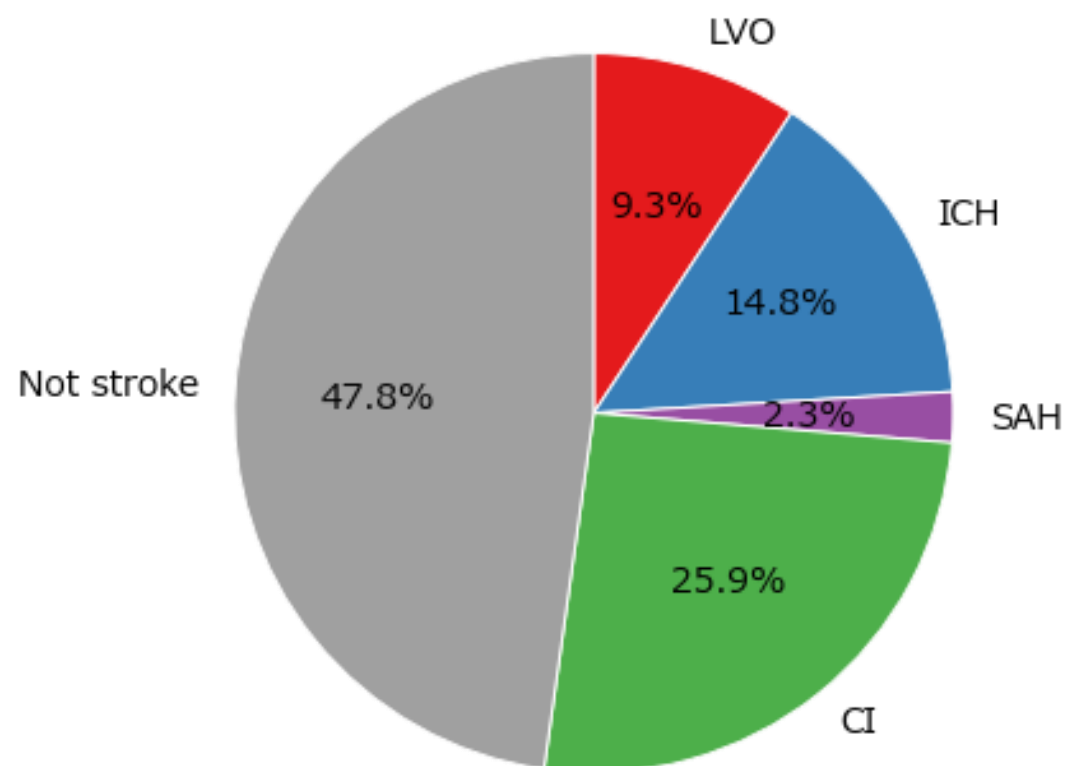


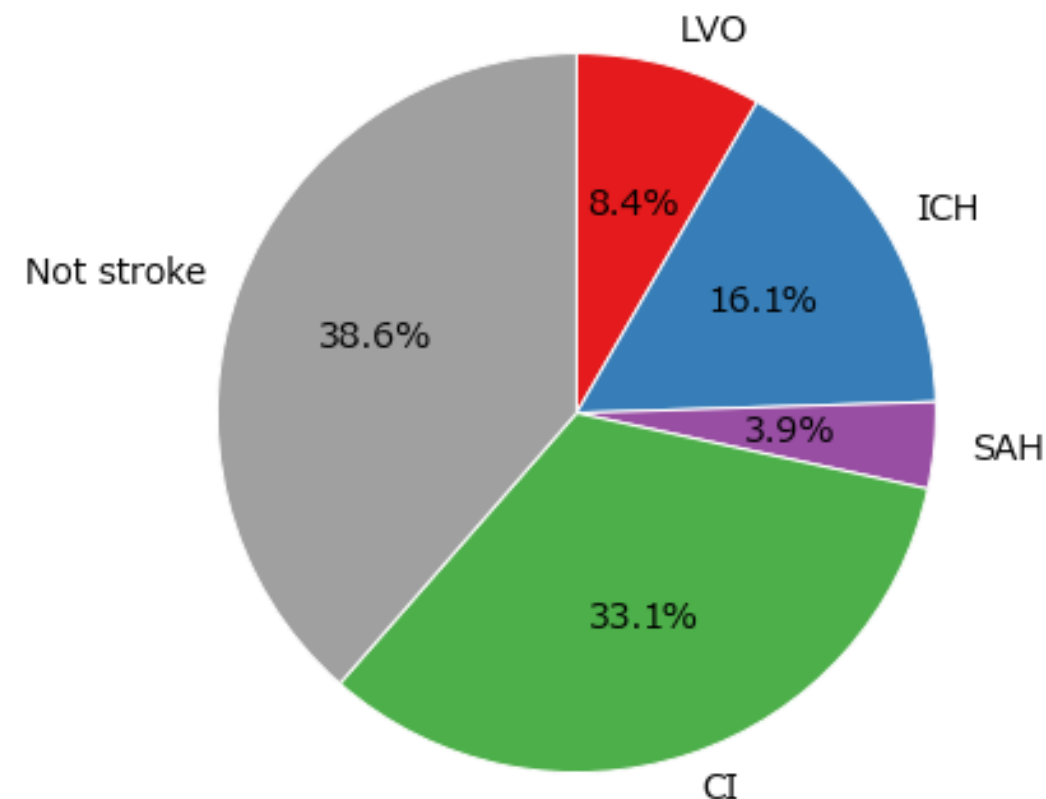
2024年度全症例の内訳

病型分類の割合比較（JUST使用 vs 未使用）

JUST使用例 (n=927)



JUST未使用例 (n=2734)



LVO症例が全体で315症例

2024年度全症例での搬送実情

	JUST使用全症例 n = 927	JUST未使用全症例 n = 2734	
救急隊交渉回数1回, n (%)	580 (57.2)	2074 (75.8)	<0.01
現場滞在時間, mean [IQR]	22 [17 - 30]	17 [13 - 24]	<0.01

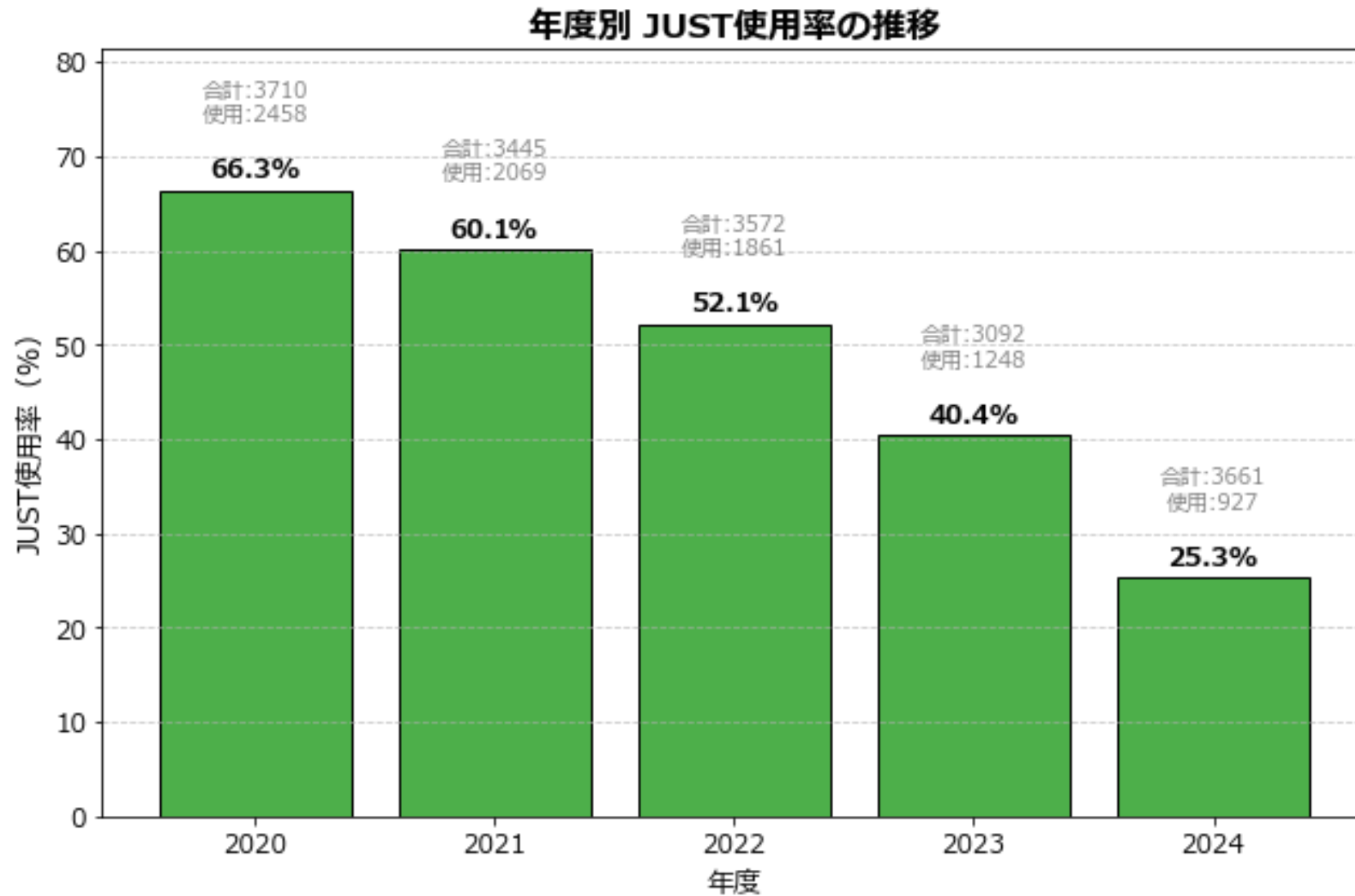
JUST使用症例の方が交渉回数も多く現場滞在時間も長い

LVO症例での実情

	JUST使用LVO症例 n = 86	JUST未使用LVO症例 n = 229	
現場滞在時間, mean [IQR]	19 [15 - 25]	17 [14 - 23]	0.14
Door to Puncture, mean [IQR]	63 [55 - 84]	71 [57-97]	0.32

LVO症例ではJUST使用症例の方が現場滞在時間は長いが
Door to PunctureはJUST使用症例の方が短い

年度別JUST利用率



JUST利用率が経時的に減少している

(参考資料) 2018 – 2023年 LVO症例

	JUST使用症例 n = 461	JUST未使用症例 n = 299	p value
D2P, median [IQR]	69 [55 - 92]	79 [58 - 110]	<0.01

	JUST使用症例 n = 755	JUST未使用症例 n = 551	Odds Ratio	95%信頼区間		p value
	n (%)	n (%)		下限	上限	
mRS 0-2	251 (33)	147 (27)	1.48	1.16	1.90	<0.01
mRS 0-3	339 (45)	221 (40)	1.34	1.07	1.69	0.01

JUST使用症例でD2Pが短縮され転帰も良好

JUST広島LVOレジストリー

対象期間：2018年度～2023年度

使用データ：

救急隊が現場で脳卒中を疑いLVOと診断された症例

救急隊が脳卒中を疑わなかったが実際にはLVOであった症例

これらを包含することで、広島市内の全LVO症例を網羅

堀江先生を中心に、これらのデータを基盤としたレジストリーを開始

今後のデータ提供スケジュール

最新データは荒木先生より各施設へ提供を予定
予定時期：2025年10月31日頃